

☆核融合科学研究所 教授／准教授／助教募集☆	
募集人員	① 教授／准教授／助教 若干名 ② 教授／准教授／助教 女性限定 1 名程度
任期	任期無し
専門分野	核融合科学研究所は、学際的展開による大学等との連携の強化及び広い分野への頭脳循環の拡大による核融合開発研究の持続的な推進のため、マイクロ集団現象プロジェクトの推進及び研究プラットフォームの整備・運用・拡充を進めています。独創性とともに高いコミュニケーション能力をもち、核融合科学の学際的展開を先導でき、マイクロ集団現象プロジェクトの推進及び研究プラットフォームの整備等にも貢献できる研究者を募集します。
担当授業科目	核融合科学(学際領域)
応募資格	① 博士の学位を有すること(助教応募者のみ、取得見込みでも可) ② これまでの専門分野における研究実績を活かし、学際領域を含む核融合科学の研究に取り組む意欲がある者 (助教応募者のみ、前述分野の研究に取り組む意欲のある者) ③ マイクロ集団現象プロジェクトの推進、研究プラットフォームの整備等に取り組む意欲がある者 ④ 国内外の共同研究に積極的に取り組み、リーダーシップを発揮すること (助教応募者のみ、国内外の共同研究の推進に意欲のある者) ⑤ (教授、准教授応募者のみ) 学生の教育に意欲があること
応募書類	① 履歴書 ② これまでの研究内容 ③ 就任後の抱負:所属を希望するユニット名、ユニットにおける研究計画、マイクロ集団現象プロジェクトの推進や研究プラットフォームの整備等に関する抱負及び希望する職種(教授、准教授又は助教)を記入すること。 ④ 研究業績発表論文リスト:和文と英文は別葉とすること。リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」(当研究所ホームページに掲載)によること。加えて、外部資金の獲得実績及び特許についても記載すること。 ⑤ 論文別刷:直近3年間に出版された3編以上を含む、計5編程度。 (助教応募者のみ学位論文及び投稿中又は投稿予定でも可、3編程度。) ⑥ ⑤の論文の概要と本人の貢献を記載した文書 ⑦ 推薦書:推薦書2通以上(このうち応募者が所属する機関の所在国と異なる国の機関の研究者からの推薦書を含めることが望ましい。) (助教を希望する応募者のみ、推薦書1通。)
着任時期	採用決定後のなるべく早い時期
応募締切	令和7年9月22日(月)17時(必着)
選考方法	選考においては書類審査を行い、書類審査合格者のみ面接を実施する。
可否連絡	通知文をメールにより送付する。
書類送付先	核融合科学研究所 管理部総務企画課人事係 E-mail nifs-jinji[a]nifs.ac.jp 推薦書は、推薦者が E-mail もしくは郵送で送付のこと。 詳細: https://www.nifs.ac.jp/about/recruit/
問合せ先	(1)提出書類について 核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

	電話 0572-58-2022(直通) (2)研究内容等について 核融合科学研究所 副所長 藤堂 泰 E-mail todo[a]nifs.ac.jp
--	--

記載例

☆〇〇大学 〇〇学部 〇〇科 〇〇専攻 募集☆

- 募集人員： 助教 1 名
- 任期： 5 年(再任可、2 回まで)
- 専門分野： 生物化学工学(化学工学をバイオプロセスに積極的に応用できる方、バイオプロセスの学際領域の発展に意 欲的な方を望みます。)
- 担当授業科目： [大学院博士前期] 専門分野の講義・演習など
[学部] 生物化学工学に関する講義、教養科目、学生実験、演 習科目など
- 応募資格： 1. 博士の学位を有する者(採用時までに取り得可能な者を含む)
2. 研究と教育とに、熱意を持って取り組む意欲のある者
- 応募書類： 1. 履歴書(写真貼付、メールアドレス) 1 部
2. 研究業績リスト 1 部(研究費取得状況を含む)
3. 主要論文の別刷3編以内(各 1 部、コピー可)
4. これまでの研究業績概要および着任後の教育研究への抱負(2000字程度)
5. 責任ある意見を伺える方2名の氏名、所属、連絡先
※ 提出された書類は返却いたしません。
※ 提出された書類は、本公募の選考以外には一切使用いたしません。
- 着任時期： 採用決定後できるだけ早く
- 応募〆切： 平成 20 年 8 月 15 日(金)【必着】
- 選考方法： 書類審査による選考の後、必要に応じて面接等を行います。
- 可否連絡： 連絡は電子メールで行いますので、履歴書中に利用可能なメールアドレスを必ず記入して下さい。
- 書類送付先：
- 問合せ先：